

第3WG 評価コメント

評価者のコメント(評価シートに記載されたコメント)

事業番号3-57 スポーツ予算

(民間スポーツ振興費等補助金)

スポーツ振興基金助成事業や toto 事業との関係を見直した上で効率的な支出を行うべきと考える。

JOCへの選手強化/選手・指導者スポーツ活動助成事業の2本柱については、一本化して集中強化、育成すべき。(財)日本武道館は自立している。今日、体育協会の有り様は要検討、組織の陳腐化。

いったん見送って、トなどスポーツ振興関係をまとめ、どこに集中するか戦略を改めて決める。翌年度、倍額投資もありうる。

toto 事業・基金事業との役割分担を見直し、補助金は縮減する。

必要予算の精査必要。

toto、公益法人等重なっているスポーツ振興事業一本化。特に選手強化・指導育成。

toto 事業収益をもっと活用すべき。

三つのルートを温存すると固定的になり、幅広い発展につながらないのではないか。事業として統合すべきではないか。

トップレベルの選手の育成支援はJOCの国費を充てるのが当然であるが、指導者、チームへの支援等事業で重複はないのか。不明朗さが残る。シンプルな民間スポーツ振興に制度改革を期待する。

スポーツ振興基金助成、toto とのすみわけを明確にする。

すべての国のスポーツ予算を一本化し、toto で足らざるを補う形とする。天下りをなくす。

WGの評価結果

民間スポーツ振興費等補助金

予算要求の縮減

(廃止 1名 予算上見送り 1名、予算要求の縮減 9名)

(半額 2名、1/3縮減 1名、その他 6名(1割2名、1~2割2名、2割2名))

とりまとめコメント

予算要求の縮減が9名。多くの方が toto 助成事業、スポーツ振興基金事業、国費の役割分担を明確化し、スポーツ予算を一本化すべきという意見でした。チームとしては、予算要求の縮減ということでまとめさせていただきたい。